

第 59 期

事業報告書 (概要)

自 令和 6年4月 1日

至 令和 7年3月31日

鳥取空港ビル株式会社

【I】事業概況

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

第 59 期の事業概況並びに実績を次のとおりご報告いたします。

(1) 事業概況

《概況》

当期の我が国経済は、国内の景気は緩やかに回復していますが、人手不足や資源高騰など物価の上昇が継続しています。また訪日外国人は過去最高を更新し、旅客の国内外の移動も着実な回復が続きました。航空業界におきましても、国際、国内線とも好調に推移しています。

《鳥取空港》

当期の鳥取空港の利用実績（東京線）は、401,550 人（前期比 107.5%、27,902 人増、利用率 66.7%）となり、過去最高の平成 30 年度（408,732 人）以降 5 年振りに 40 万人を超えました。

国際チャーター便は台湾便が就航し 1,645 人（利用率 69.4%）、また国内チャーター便も 318 人（利用率 75.7%）の利用がありました。

航空機利用者を除く空港来場者数の年間実績は 449 千人（前期比 106.2%）と、過去最高の実績となりました。以下、山陰 4 空港の東京線の利用実績です。

空港名	実績	前期比	増減	利用率
鳥取	401,550 人	107.5%	27,902 人増	66.7%
米子	591,102 人	110.5%	55,968 人増	68.9%
出雲	634,387 人	107.9%	46,601 人増	77.5%
石見	135,694 人	104.0%	5,247 人増	62.1%

《事業概況》

当期は、前期に続き、航空灯火 LED 更新事業、滑走路端安全区域（RESA）整備事業（以下「国庫補助事業」という。）を鳥取県から受託し、本格的に事業が進んでいます。

空港賑わい創出事業では、毎年恒例のイベントも開催しつつ、新たなイベントにも取り組み、前述の通り過去最高の来場者となりました。3 月には「鳥取砂丘コナン空港」愛称化 10 周年を迎え盛大に記念セレモニーを開催しました。

また、新たなテナントとして、鳥取県のご当地ラーメンである「牛骨ラーメン」店が 2 月から営業を開始しています。

その他、前期に続いて「鳥取砂丘コナン空港カーボンニュートラル拠点化協議会」によって策定された「空港脱炭素化推進計画」の推進や「鳥取砂丘コナン空港と周辺観光地等を結ぶ二次交通改善活動プラットフォーム」の出口戦略に基づき、国交省の「令和 6 年度共創・Ma a S 実証プロジェクト事業費補助金」を活用した実証実験の実施、「空港運営情報の管理手法検討に関する調査・検討業務」（空港 DX）の検討などを取り組みました。

《業績》

◆売上総利益 1,654,978 千円 (対前年比 168.3%)

(国内空港ビル部門)

- ・ 自社売店の売上金による増収
- ・ 乗降客数増加によりレンタカー歩合収入等増収

(コンセッション部門)

- ・ 国庫補助事業の受託収入による増収
- ・ テナント歩合収入等の増収

◆販売費及び一般管理費 1,674,410 千円 (対前年比 171.6%)

(国内空港ビル部門)

- ・ 一昨年取得した固定資産の減価償却費増加
- ・ 自社売店の管理委託費用増加
- ・ 維持管理費の外部委託費用値上がりによる増加

(コンセッション部門)

- ・ 国庫補助事業の委託費用による増加
- ・ 維持管理費の外部委託費用値上がりによる増加

◆営業利益 △19,432 千円 (対前年比 —%)

◆経常利益 △20,538 千円 (対前年比 —%)

◆当期純利益 △22,842 千円 (対前年比 —%)

(2) 財産及び損益の状況

(単位：千円)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
売 上 高	650,861	752,077	984,045	1,655,487
当 期 純 利 益	11,995	△4,226	19,562	△22,842
一株当たり当期純利益	39 円 98 銭	△14 円 08 銭	65 円 20 銭	△76 円 14 銭
総 資 産	1,018,186	1,033,638	1,130,127	1,281,087

【Ⅱ】会社の概要

(1) 株式の状況（令和7年3月31日現在）

- ①発行可能株式総数 960,000株
- ②発行済株式の総数 300,000株
- ③当期末株主総数 12名
- ④主な株主

株主名	持株数	
ANAホールディングス株式会社	100,000株	33.33%
日ノ丸自動車株式会社	70,000株	23.33%
鳥取県	66,680株	22.22%
鳥取市	33,320株	11.11%
日本交通株式会社	8,000株	2.67%
日本通運株式会社	8,000株	2.67%
永瀬石油株式会社	5,000株	1.67%

(2) 従業員の状況（令和7年3月31日現在）

①従業員の数	35名
②平均年齢	47.0歳
③平均勤続年数	5.0年

(3) 役員（令和7年3月31日現在）

役職名	氏名	主たる経歴
代表取締役	宮部久照	
専務取締役	矢野史朗	
取締役	遠藤俊樹	鳥取県輝く鳥取創造本部 本部長
取締役	山根陽一	鳥取市都市整備部 部長
取締役	大島淳	日本通運株式会社 広島航空支店長
監査役	池原浩一	池原公認会計士事務所 公認会計士・税理士

【Ⅲ】貸借対照表

令和7年3月31日 現在

[単位：千円]

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	631,296	流動負債	423,060
現金及び預金	517,075	未払金	366,310
商品	1,246	前受金	38,013
未収入金	83,946	預り金	1,018
仮払金	2,184	未払法人税等	1,608
前払費用	26,840	大規模修繕費引当金	16,111
その他	5		
固定資産	649,791	固定負債	102,664
(有形固定資産)	631,712	敷金	10,587
建物	321,419	退職給付引当金	17,077
建物附属設備	266,905	長期借入金	75,000
構築物	2,156	負債の部合計	525,724
工具器具備品	22,301	純資産の部	
車両運搬具	901	株主資本	755,363
機械装置	6,659	資本金	150,000
改装費	327	利益剰余金	605,363
建設仮勘定	11,044	利益準備金	4,800
(無形固定資産)	1,060	(その他利益剰余金)	600,563
電話加入権	293	別途積立金	268,171
ソフトウェア	626	繰越利益剰余金	332,392
無形固定資産	141		
(投資等)	17,019		
出資金	16,841		
預託金	28		
差入保証金	150	純資産の部合計	755,363
資産の部合計	1,281,087	負債・純資産の部合計	1,281,087

【IV】損益計算書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

[単位：千円]

科目	金額
営業収入	1,655,487
売上原価	509
売上総利益	1,654,978
販売費及び一般管理費	1,674,410
営業利益	△19,432
営業外収益	1,192
営業外費用	2,298
経常利益	△20,538
特別利益	0
特別損失	59
税引き前当期利益	△20,597
法人税等	2,245
当期純利益	△22,842